

## 【神奈川県】 東海大学医学部付属病院 腎泌尿器科

### 東海大学および関連施設における 泌尿器科専門医教育プログラムの特徴



本プログラムは、東海大学医学部付属病院を中心として、東海大学医学部付属病院（八王子病院および大磯病院）、伊勢原協同病院、池上総合病院、および静岡県立清水病院から構成されます。4年間の後期研修期間中は、これらの研修基幹病院ならびに研修連携施設での研修が行われます。東海大学医学部付属病院、および関連施設の症例数は豊富で、専門医取得に必要な症例数を比較的早期に経験できます。また、東海大学医学部付属病院では、前立腺癌、腎臓癌、尿路上皮癌（腎盂尿管癌および膀胱癌）、および副腎腫瘍に対する腹腔鏡下およびロボット支援下手術のトレーニングシステムが確立しているため、早い時期から助手や術者としての参加が可能です。泌尿器科専門医取得後の腹腔鏡手術認定医やロボット支援手術プロクターの取得に向けて、万端の準備を整えます。その他、前立腺肥大症、尿路結石症に対する内視鏡手術、女性泌尿器疾患に対する内科的・外科的治療も積極的に行われており、疾患の良性悪性問わず後期研修を行う施設として優れた環境が整っています。

#### 当科の特徴的な医療とは

##### 豊富なロボット支援手術

当科における2020年のロボット支援手術の実績は、ロボット支援下前立腺全摘除術が127件、ロボット支援下腎部分切除術が33件、ロボット支援下膀胱全摘除術が22件と、豊富な症例数を誇ります。また、2021年からは、女性泌尿器科疾患である膀胱脱に対するロボ



ット支援下仙骨腔固定術も開始し、幅広い疾患に対する治療の症例数が順調に増加しています。ロボット支援手術に興味を持つ先生には、最適の環境です。

#### MRI画像診断に基づく最先端医療への試み

東海大学医学部付属病院では、高度な画像診断が可能です。MRI画像に基づいた前立腺生検による癌局在診断（MRI画像・経直腸の超音波検査融合画像ガイド下前立腺生検：先進医療A技術）、癌局在診断に基づく前立腺癌標的局所療法（focal therapy）、そして全身MRI拡散強調画像による悪性腫瘍の微小転移の検出など最先端画像診断技術を積極的に導入しています。新しい医療技術に触れたい先生には、充実した研修期間になるはずで



#### 若手が活躍できるプログラム！

当科では、後期研修医開始と同時に、積極的に検査、処置、および手術に参加が可能です。熟練した指導医とともに多くの経験ができることは、泌尿器科医として成長する上で貴重な機会になるはずで

ます。また、後期研修の仕上げとして、誰もがチーフレジデントを経験することになります。チーフレジデントは、病棟や手術を主治医とともにマネジメントするとともに、ほとんど全ての手術に入り術者としての経験を積むことが出来ます。

医局内には基礎研究室が配備され、経験豊富な指導医が在籍していますので、基礎研究に興味がある先生は早期に研究を開始できます。もちろん、臨床研究も活発であり、研究成果がまとまった段階で国内学会ならびに国際学会で発表する機会を積極的に後押ししています。一方で本学では働き方改革が実行されており、若い先生にも積極的に休暇を取得することを勧めています。ぜひ、私たちとともにワークライフバランスの取れた楽しい研修にいきましょう！

